

今後の展開及び期待される成果

【各グループの今後の展開】

CCL20/CCR6欠損マウスを用いた炎症性腸疾患の研究

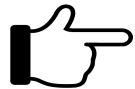
腸炎の新たな知見 CCL20と腸炎病態形成との関連を動物モデルで解析



ケモカイン・ケモカイン受容体を分子標的とした新たな炎症性腸疾患の治療法の開発！

NPGL/NPGM欠損マウス、NPGM欠損ゼブラフィッシュを用いた肥満症・依存症の研究

肥満モデル 摂食行動やエネルギー代謝調節機構の詳細を追究



肥満症、依存症、代謝性疾患の新たな治療法の開発！

ゲノム編集ゼブラフィッシュの作製による遺伝性疾患の病態機構解明

遺伝子疾患モデル 小児科学講座と小児希少遺伝性疾患の日露共同研究を展開



国際プロジェクトの発展、AMED等大型の外部研究資金の獲得！

ゲノム編集マウスの作製による膵癌の病態解明

新規膵癌モデル In vitro 抗悪性度膵癌モデルを用いて膵癌治療薬の抵抗性獲得機構を解明



新規の膵癌診断マーカーや治療標的分子の同定！

長寿化外尿道括約筋細胞の遺伝子欠損株を用いた研究

尿道括約筋の分化 外尿道括約筋の分化機構を解明



外尿道括約筋の再生技術の確立！

各グループは、それぞれ専門とする疾患領域の病態解明に取り組み、国際レベルの研究を展開し世界に向けて発信

将来の大型事業(JST・AMED・NEDO等)への橋渡し研究に必要な革新的な病態解析ツールを提供

【チームの今後の展開】

研究支援分野の研究サポート業務の一環として学内研究者へ遺伝子改変動物を提供する



ゲノム病態医学研究センター(仮称)の創設！